北海道建築士
HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2024.06.No322
6月号

目次

令和５年度全国まちづくり委員長会議（第32回まちづくり会議）……1
令和５年度 高校生建築デザインコンクール入選作品発表……2
「建築士の日」支部事業……4
全道青年委員会報告……6
Coffee Break……7
information……8

URL　https://www.h-ab.com/

令和５年度全国まちづくり委員長会議（第32回まちづくり会議）

まちづくり委員会　委員長　松　本　　純（札幌支部）

３月23, 24日の２日間　熊本市で開催されました、令和５年度全国まちづくり委員長会議（第32回まちづくり会議）の報告をいたします。参加者は全国からまちづくり委員の方々等約100名です。

会場の様子

■熊本県建築士会　伊藤会長とまちづくり委員長山川氏より、熊本地震の際に平時から九州ブロック各県の建築士会での交流や応急危険度判定対応の連携の仕組づくりをしてきたことが、非常に有効に機能したこと。被災時には当事者では難しい部分があり、近隣県との連携が重要。また、復旧においては、文化庁の文化財ドクター派遣事業にヘリテージマネージャーが行政と連携を図り復旧支援の活動を行ったとの報告。

■熊本市都市政策部都市デザイン課　木下主査より、持続可能な歴史まちづくりに向けた取り組みとして、熊本市歴史的風致維持向上計画を策定。向上という言葉が非常に重要で、熊本市としてまちづくり団体と連携、資金支援も含んだ活動支援を行い、維持と利活用をすることで、地域の機運・誇りの醸成や、魅力的な景観形成による地域全体のエリア価値や回遊性の向上を行っているとの報告。

■地域密着型まちづくり組織　きもいりどん　河野理事より、新町古町地区の方々に寄り添い活動を行っている。きもいりどんとは民謡おてもやんに登場する、まちの世話役の事で、空き店舗のファサード部分を賃貸してギャラリー店舗とするマドカイ事業や、路地や未利用地を利用して地域のおまつり、交流の場としたロジ・リンク・シティの活動を行っているとの報告。

■まち歩きでは新町古町地区の歴史的建築物の利活用、地震による被害からの復旧を行った建物等を見て回りました。

■石川県建築士会　まちづくり委員会　中西副委員長より、能登半島地震発生から53日の現地からの、建築士の視点として、被災現場での建築士や建築士会へ求められていることとして、被災度判定と住宅相談と日ごろからの備え。安全神話は無い事を皆様に忘れないで欲しいとの事。

■富山県建築士会　徳田副会長より、能登半島地震での富山県の被害、東日本大震災後に富山県建築三会が協働して応急危険度判定を行い、家具転倒防止の取り組みを行っている。建築士は建築業のいろんな方との常時の付き合いが必要、有事に連携しやすい様に行政の方にも是非参加して欲しいとの要望。

■熊本県建築住宅センター　田辺参与より、熊本における地震仮設住宅の取り組み。仮設住宅にこそ「あたたかさ」「ゆとり」「ふれあい」のある配置計画が必要。交流の場としての「みんなの家」を木造で整備してきた取り組みの説明。

■熊本県建築士会　広田副会長より、熊本地震の概要、復興モデル住宅の建設と、住宅相談会の実施。益城町では2000年の木造構造基準で建てられた、建物は震度７を２回受けても被害を受けた建物は2000棟の内、2.7％であったという事で、構造基準をしっかり守ることで被災を防げることの説明。

大変貴重なお話しをお聞きし、全国のまちづくり委員の方々との交流もさせていただき、濃密な２日間でした。北海道でも出来る事、しなければならない事を、みんなで話し合ってみたいと思います。

令和５年度
高校生建築デザインコンクール入選作品発表

課題　「きたすまいるヴィレッジに建つ、子育てが楽しくなる北方型住宅」

北海道建設部建築局、日本建築家協会北海道支部、北海道建築士事務所協会、北海道建築士会の共催により、令和５年度　高校生建築デザインコンクールが開催されました。開催は平成８年度から本年で28回目を迎え、全道各地の建築を学ぶ高校生から意欲的なデザインの応募がされました。

本年は想定課題となり、『きたすまいるヴィレッジに建つ、子育てが楽しくなる北方型住宅』です。場所は南幌町で、北海道、南幌町、北海道住宅供給公社、(一社)北海道ビルダーズ協会、(公社)日本建築家協会北海道支部が主催し、北海道がおススメするきた住まいるメンバーが、南幌らしい暮らしとまちづくりを提案するプロジェクト『きたすまいるヴィレッジ』です。

応募作品は62名から49作品、課題の難易度や各校のカリキュラムの関係から例年より減少しています。その中から最優秀１作品、優秀３作品、佳作４作品、特別賞２作品を５人の審査員のポイントと協議により選定をします。審査時間は約３時間なので事前にいくつか気になる作品をチェックしていましたが、実物を見ると印象が変わります。住宅という事で、かなり自由に考えられた作品が多く、丁寧に作り込まれた作品も多く審査には悩みましたが、結果的に最優秀、優秀賞を受賞された作品は、あまり票が割れる事が無く決まりました。誰もが納得するレベルの高い作品だったのだと思います。

応募してくれた高校生の方々、ご指導された教員の皆様へ感謝申し上げますと共に、本年のコンクールも楽しみにしております。

まちづくり委員会　松本　純（札幌支部）

最優秀作品賞

■×○

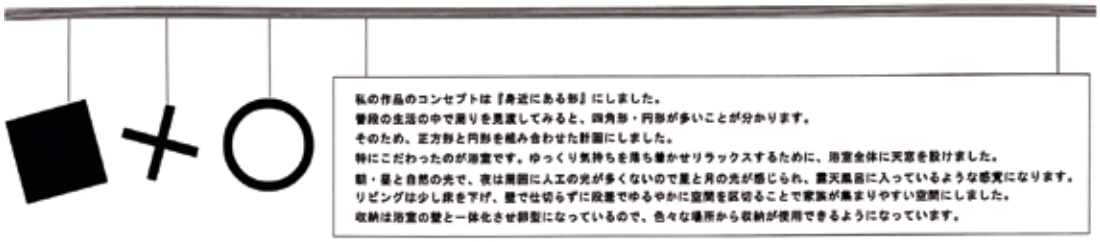
北海道小樽未来創造高等学校
津川　　楓（３年）

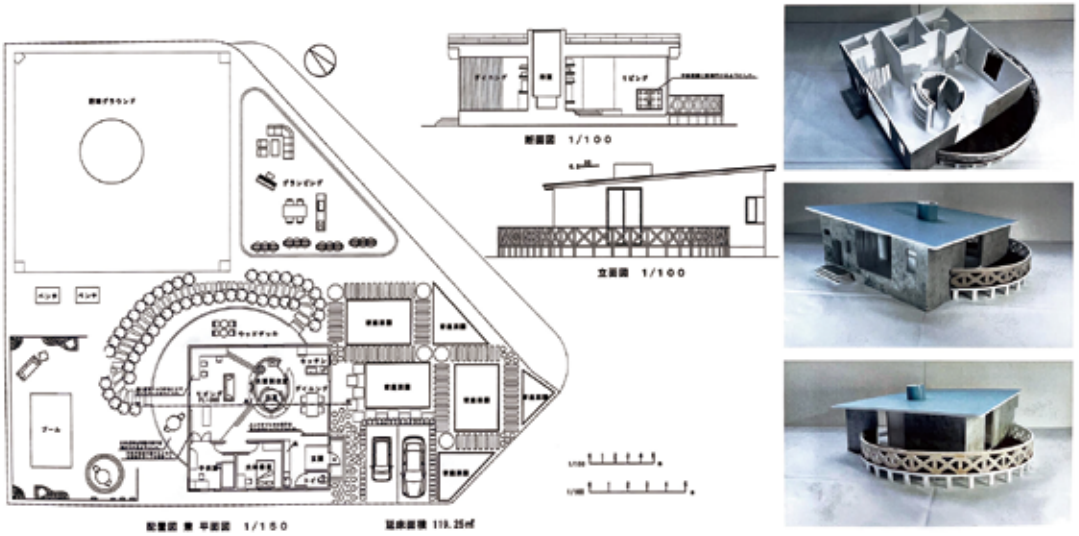
○設計主旨

私の作品のコンセプトは『身近にある形』にしました。
普段の生活の中で周りを見渡してみると、四角形・円形が多いことが分かります。そのため、正方形と円形を組み合わせた計画にしました。
特にこだわったのが浴室です。ゆっくり気持ちを落ち着かせリラックスするために、浴室全体に天窓を設けました。朝・昼と自然の光で、夜は周囲に人工の光が多くないので星と月の光が感じられ、露天風呂に入っているような感覚になります。
リビングは少し床を下げ、壁で仕切らずに段差でゆるやかに空間を区切ることで家族が集まりやすい空間にしました。
収納は浴室の壁と一体化させ卵型になっているので、色々な場所から収納が使用できるようになっています。

○審査講評

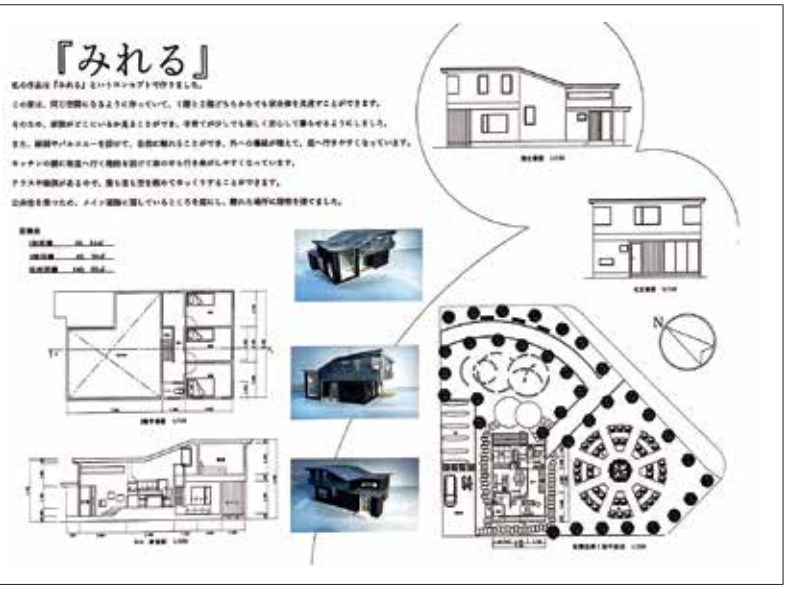
天空光の入る浴室を中心に、立体的なパブリックスペースを移動できる斬新なデザインが評価された。
また、敷地計画も豊かであり、ダイニングと菜園、リビングとデッキというつながりも評価された。





優秀作品賞

北海道小樽未来創造高等学校
尾崎　利允（３年）



みれる

○設計主旨

私の作品は『みれる』というコンセプトで作りました。

この家は、同じ空間になるように作っていて、１階と２階どちらからでも家全体を見渡すことができます。

そのため、家族がどこにいるか見ることができ、子育てが少しでも楽しく安心して暮らせるようにしました。

また、縁側やバルコニーを設けて、自然に触れることができ、外への動線が増えて、庭へ行きやすくなっています。

キッチンの横に和室へ行く階段を設けて家の中も行き来がしやすくなっています。

テラスや縁側があるので、昼も夜も空を眺めてゆっくりすることができます。

公共性を保つため、メイン道路に面しているところを庭にし、離れた場所に建物を建てました。

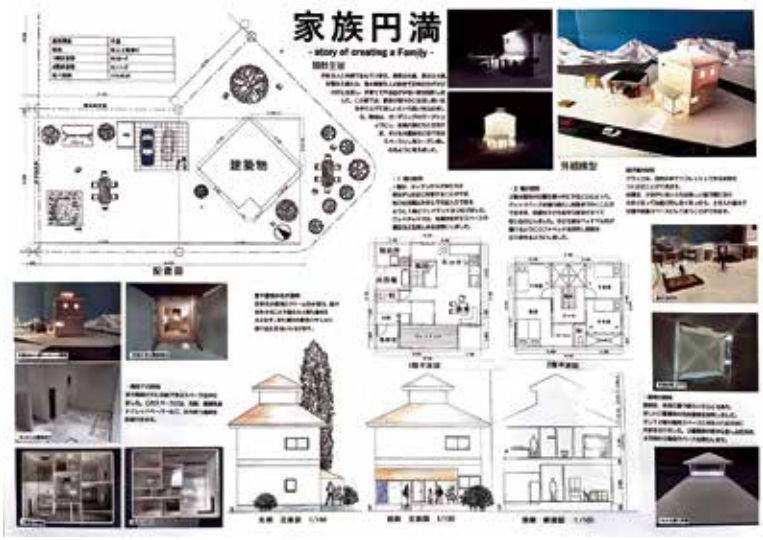
○審査講評

屋外空間とのつながりが良く、スキップフロアによる高さの変化や一体化のユニークさと若々しいフォルムが評価された。

また、敷地計画も良く、メイン道路への配慮も評価された。

優秀作品賞

北海道名寄産業高等学校
北田　秀明（３年）
橋本陽南太（３年）



家族円満
-story of creating a Family-

○設計主旨

子供３人と夫婦で住んでいます。

長男は６歳、長女は４歳、次男は２歳と父、母の５人の設定で子供たちがのびのびと生活し、子育てで不自由が少ない家を設計しました。

この家では、家族が穏やかに生活し思い出を作り上げてほしいという思いを込めました。

隣地はガーデニングのワークショップにし、近隣の親たちと交流でき、子供も園芸などをできるスペースとし、毎シーズン楽しめるように考えました。

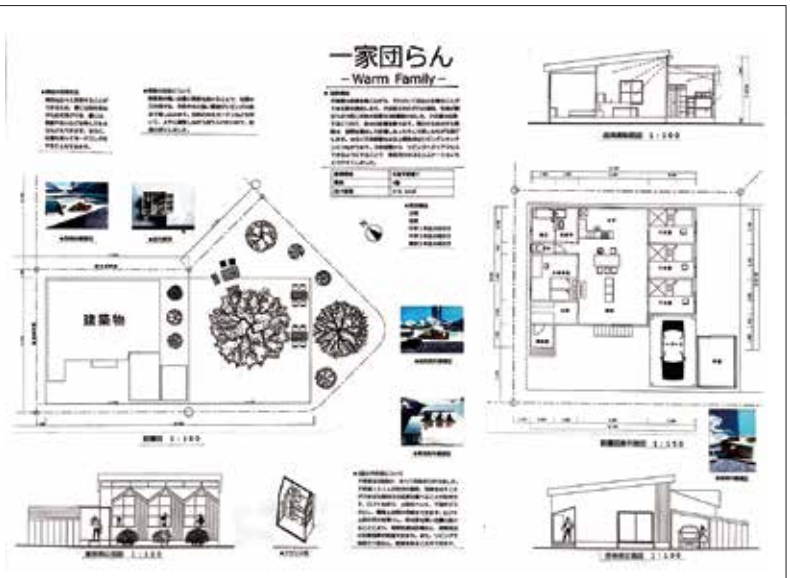
○審査講評

コンパクトなプランで細部までまとまった提案がされており、現実的で景観的にも良い点が評価された。

また、トップライトが中心に光を与え、内外のつながりを表現している点も評価された。

優秀作品賞

北海道名寄産業高等学校
川上　遥斗（３年）



一家団らん
-Warm family-

○設計主旨

夫婦２人と子供３人で暮らしています。

この家は子供達の成長を感じながら、自立心をはぐくむことができるという家を考えました。

子供室はそれぞれの個性、性格が際立つように３部屋同じ形状にしました。

男の子も女の子も素敵な空間を演出して自慢し合ったり楽しみながら過ごします。

また、大きなリビングでは一家団らんで食事やコミュニケーションを取ることもできます。

一家団らんで暖かい生活ができる。そんな家を提供します。

○審査講評

リビングに向いて３室並んだ子供部屋や、細かな配慮が多数あり、屋内外ともにまとまった提案である点が評価された。

「建築士の日」支部事業

今年も各支部にて様々な事業が開催されます。
「未定」の場合でも時期を変えて開催を計画している支部もありますため、詳しくは各支部へお問い合わせください。

支部名	開催年月日	事　業　計　画	開催場所
札　幌	７月６日(土)	景観バスツアー	北広島～恵庭方面
	７月１日(月)	「建築士の日」ポスター掲示	市内現場囲い等
千　歳	未定		
恵　庭	５月30日(木)	「ごみゼロの日クリーンウォーキング」参加 （主催：恵庭市ボランティアサークル） 街の清掃活動と建築士会のPRを目的に参加	恵庭市内
	８月中旬 （未定）	第17回「YEGフェスティバル」出店 （主催：恵庭商工会議所青年部） 建築士会のPRを目的に恵庭支部青年部が主体となって「えにわ焼き鳥店」を出店	恵庭市内
北広島	未定		
石　狩	未定		
函　館	７月４日(木)	「ワインと地酒の夕べ」 会員の親睦と市民との交流を図り、「建築士」の存在をアピールする。	函館市地域交流まちづくりセンター
桧　山	７月７日(日)	江差町かもめ島祭りの一行事である「全道北前船競漕大会」に参加し、スタートのアナウンスでのチーム紹介時に、建築士会のPRをする。優勝賞金は10万円。消防チームや海上保安庁チームなどの強豪の中、建築士会チームは７位入賞の実績があります。前回は全国大会函館大会のスタッフ衣装で統一し、ベストドレッサー賞の１万円を頂きました。大会後、選手10名と、応援団とで焼肉で慰労会を行い、会員の親睦を深めることを目的としている。	江差町かもめ島埠頭
小　樽	未定		
後　志	未定	「建築士の日」に関する事業（７月１日の前後の週末） ・建築士の日の前後の土曜日に建築士会が、地域に貢献できること、または、会員相互（賛助会員を含めて）の交流できる行事を計画する。 ・建築士の活動を地域に知ってもらい､新規会員の加入を目指す。	
岩　内	未定		
余　市	未定		
古　平		（事業実施見送り）	
室　蘭	８月10日(土)	親睦ビアパーティー	ビアキャビン
苫小牧	７月予定	地域貢献活動として道路の清掃ボランティアと施設見学会、昨年中止の厚真での震災復旧状況を中心とした見学会を予定、会員20名程度の参加を見込んでいます。	
日　高	未定		
空　知	未定		

支部名	開催年月日	事　　業　　計　　画	開催場所
北空知	８月20日(火)	建築士と仲間の集いビールパーティー	深川市経済センター
留　萌	７月予定	社会奉仕資金造成ビアパーティー	留萌産業会館
旭　川	７月１日(月)	建築士賞の表彰 ・支部管内において良好な都市環境づくり、人にやさしい住環境づくりをとおして､北国の快適で豊かな街づくりに寄与し、顕著な功績があった個人・団体を選考し表彰する。	アートホテル旭川
		「建築士の日記念」第37回チャリティービールパーティーの開催	
士　別	７月１日(月)	建築士の日に伴う会員親睦会	未定
富良野	６月29日(土)	建築士の日ビールパーティ	フラノマルシェ２TAMARIBA（タマリーバ）
上富良野	７月上旬予定	「建築士の日」ビールパーティ	上富良野町公民館
名　寄	７月上旬予定	「建築士の日　会員親睦焼肉パーティー」	雪あかり館
十　勝	７月予定	「オビヒロホコテン」にブース出展予定。 子供達や一般の方向けの木工作等。	帯広市歩行者天国
		親睦ビールパーティー開催予定	十勝ガーデンズホテル（予定）
釧　路	７月予定	建築士の日　ビールパーティー	
根　室	８月予定	懇親会	未定
中標津	７月６日(土) （予定）	建築士の日記念事業（ベンチの製作、寄贈） 別海町へ木製ベンチを４台程度、製作並びに寄贈	別海町
網　走	７月６日(土)	・ビールパーティ開催　・老人施設音楽慰問 ・親子で巣箱作り	市民会館他
北　見	未定	技術研修会・講習会（会員・賛助会員）	
美　幌	７月７日(日)	未定	
紋　別	７月上旬予定	第21回支部長杯パークゴルフコンペ 「まきばの広場パークゴルフ場」	紋別市
遠　軽	未定		
斜　里	未定		
宗　谷	７月５日(金)	宗谷支部では、毎年７月５日に開催される北門神社祭の神輿渡御に地域貢献活動・建築士会のPR活動として毎年参加しており、今年も参加する予定です。	稚内市

青　年 委員会	６月29日(土)	**建築士お仕事体験フェス** 今年は、北海道各地の主要都市において子どもを対象にお仕事体験イベントを同日開催。 子供たちをはじめ多くの方に建築士のお仕事の魅力を発信します。 道央ブロック　札幌市「札幌市青少年科学館」※(大人入館料700円) 道南ブロック　函館市「ポールスターショッピングセンター」 道北ブロック　旭川市「旭川市市民活動交流センター　CoCoDe（ココデ)」 道東ブロック　紋別市「紋別児童センター」

全道青年委員会連絡会議を終えて

青年委員会　傳　法　直　也（後志支部）

「シューーーーーーーーーーーーーーーーウウッッッッッッパ！！」

何事！ってお思いかもしれませんが、青年連絡会議の特別セミナーでの一幕です。

今年の青年委員会のテーマは『**ひろがる、輝く青年建築士**』となっており、吉田青年委員長のもと、今までにない取り組みとして一般参加者も含めてのセミナーとなりました。

全道各地から61名の青年建築士の参加と一般参加者16名の合計77名の参加で建築士会員外にひろがる会議となりました。

「あなたの心を丸裸にする色の秘密」と題しまして、AMICA color design代表　田中 希氏によりご講話いただきました。

田中氏は一般財団法人日本色彩研究所認定色彩指導者であられると共に顔ヨガインストラクターとしても第一線で活躍されている方で色によるコミュニケーションの取り方や笑顔の作り方を学びました。

建築に携わるものとして、色の決定は建築物の印象を決定づける重要な要素になります。色に関する知識は一般の方よりは知っていると思っていましたが、色の好みの個人差や傾向は人それぞれであり、今までは漠然とこの人はこんな色が好きなんだろうなと推測していたものが、「言語のイメージスケール」というツールを使い、明確に好みを見つけることができました。これの面白いところは色を形容詞であらわされており、「元気な」「伝統的な」「シャープな」「さわやかな」など180語もの言葉のイメージで傾向を掴むところであり、それが不思議と色で選ぶより正確に出てくるところです。あとはそれに合わせた提案をしていくだけという、色というつかみどころのない感覚的に行っていたことが極めてロジカルに把握できるところに面白さを感じました。

実際に自分でやってみて、自分の趣味趣向や思考などが色に表れてくるさまは自分の内面を見透かされたような驚きと感心の連続で、こんな思いは「B型の説明書」を読んだ時以来の感覚でした。信じるか信じないかはあなた次第ですがあっという間に時間が過ぎてしまいもっと話を聞きたかったのが心残りです。

それでも時間がない中で顔ヨガもやっていただき、自分が如何に笑顔の筋肉を使っていなかったのかが分かりました。笑顔は筋トレで鍛えられるので、写真のように鼻から息を吸って、息を吐きながら顔のパーツをすべて中央に集めるイメージで、息を吐ききったらパッと目を開けましょう。これを３回、朝昼晩やれば素敵な笑顔が手に入ります。

今回のセミナーで色彩に関する深い知識を身に着け、仕事の可能性を広げ、輝く笑顔を手に入れ多くの仲間がひろがる。そんな第一回目に行うセミナーにふさわしい内容となりました。

その後の懇親会では、フィンチオブダイナーという会場の中央に巨木がそそり立つおしゃれな会場で行いました。会場の真ん中にある柱を巨木に仕立て上げ、個性的な世界観を作り上げる手法はデメリットをメリットに変換する技術であり、建築士として学ぶことも大きいと思いました。会場では余興として建築士クイズを行い、大いに盛り上がりました。今回参加した方は次回も参加したいと思ってくれたはずですし、今回参加できなかった方は次回参加してみようかなと思ってくれているんではないかと私は感じざるを得ません。

今年一年の最高のスタートダッシュを切れたと思います。今後もいろんな魅力的な活動を行って青年委員会を盛り上げていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆さん一緒に建築士会を楽しみましょう。それでは、皆さんご一緒に！

「シューーーーーーーーーーーーーーーーウウッッッッッッパ！！」

「特別セミナー」の顔ヨガの光景

名寄支部　支部設立60年。この先…

事務局長
開発　伸広

1964年に旭川支部から独立し、123名の会員でスタートした名寄支部は、今年で設立60年を迎える。

当時は、高度経済成長期で人口が増加し、管内に約86千人が居住していたと記される。公共事業の拡大など建設需要が高まり、建築技術の急速な進歩により、まちも発展し、今のまちなみ基盤を築いてきた時代。以降、長きにわたり建築界の発展に多大な貢献を果たしてきた建築士の先輩方々に、深く敬意を表すところであります。

今、管内人口は約34千人とピークの半分以下に減少し正会員も38名になった。過疎化や景気後退も悪循環に、地方で建築に携わる者の取り巻く環境は、ますます厳しい状況にある。

また、名寄高等学校工業科の時代から、長きにわたって建築学の教育活動を実践されていた「名寄産業高等学校」が今年度で閉校になる。この学校とは、卒業設計表彰の協賛、現場見学会やベンチ設計など教育課程と共に活動を展開してきた。支部賛助会員に加入いただき、教員とも関係が深く、卒業生の地域雇用に積極的に携わるなど、地域に深く定着していたので、今後は若手確保にも影響しそうである。

さらに、名寄支部には40歳以下の正会員がいない。30代技士会員が２人のみである。高齢化も進み、このままでは消滅可能性支部として、名を挙げかねない状況にある。

このところの支部事業は、会員親睦会と地域行事への参加を主力に活動をしているが、会員定着や若い人材の確保につながるような、建築の魅力を伝えられていないと反省する。

昨年、建築の魅力を少しでも伝えようと「ブロック玩具でまちづくり」と称し、児童らにまちなみを創ってもらう参加型のイベントを久しぶりに開催した。建築することの一端に触れてもらい盛況のうちに終了できた。（旭川支部様からブロックを貸与いただき開催することができました。旭川支部様、誠にありがとうございました。）

人生だと還暦にあたる名寄支部。この先…も、まちや建物が残るかぎり必ず建築士が関わる。ひと昔前とはやり方や関わり方が違っても、建築士がまちづくりや社会貢献などを通して、社会や住民から信頼されることで「会員の資質向上」や「魅力」も高まると思っている。

60周年を会員みんなで祝いつつ、型にはまらず「建築はおもしろい」と感じてもらえるよう、会員のなかまや関連団体と共に、地域課題の一つ一つを前向きに取り組んでいきたい。

根室支部　防災と人口減少の考え

支部長
山口　耐一

今年１月に能登半島地震が発生し、多くの建物が倒壊して、多数の人が犠牲となりました。建築と言う仕事に携わる我々としては、倒壊した建物により人命が奪われる事は、非常に残念な事です。建物の設計において、耐震性そして命を守るシェルターとして、充分にその性能を持ち得るか、常に考えさせられる出来事でした。私の住む根室も、度々地震による被害が、発生しております。現在どの地域に、どの災害が起こりやすいのか、ある程度把握できるはずです。防災ということは、非常に大事で、安全と思われる場所を、自らが探すのではなく、国や行政が、丈夫な避難シェルター建設に、費用と時間をかけるべきではないでしょうか。

災害による地域社会の縮小が、人口減少をますます加速させ、少子高齢化も進みます。

本部総会において、会費の値上げの話も聞きましたが、この事が会員の減少に影響するのではないかと、心配しております。魅力ある建築士会とは、会員が喜んで参加できる集まりとは何か、資格者の増加より、退会する人数が増える状態が起きるでしょう。

将来に向けて、少人数でも運営できるコンパクトな地域社会と、インフラ整備、その中での建築士としての仕事を、近隣の地域との、仕事の奪い合いではなく、協力して、より良い町づくりに貢献していきたいです。

住み慣れた町で、幸福に日々生活したいと、多くの人が思っています。生活の糧とする仕事を作る事や、家庭を持ち次世代の人を育てる。

住む家の役割は、これからは更に重要になるでしょう。

当地でも、新築住宅より解体される住宅の数が、非常に増えてます。空き家を耐震等充分使用できるものに改築し、建物を活用する等、建築士の役割は、今後色々な面で、関わってくるでしょう。維持出来る地域社会を作り、自然の猛威によって、人の命が奪われる事がない様に、防災に対しても建築士として関わる機会を、持っていきたいと思います。

これまでの歴史的教訓が、将来に引き継がれる様、地域社会に建築士の一員として、粘り強く取り組んで行かないとならないと思います。

最後に各支部の会員の皆様の、御健勝をお祈り申し上げます。

道士会の動き

本部の主な会議報告（５月）

◆第１回総務企画委員会
〈開催日〉１日(水)
１）令和６年第３回理事会議案
◆第２回四役会議
〈開催日〉９日(木)
１）令和６年第３回理事会議案
◆第２回女性委員会小委員会（web）
〈開催日〉14日(火)
１）全道大会
２）集い
３）名刺
４）委員による仕事・趣味　紹介
◆第３回理事会
〈開催日〉17日(金)
１）令和６年一般会計事業報告書及び収支状況報告(３月末)
２）令和６年特別会計事業報告書及び収支状況報告(３月末)
３）(一社)北海道建築士会第46回全道大会（日高大会）決意文（案）
４）(一社)北海道建築士会第46回全道大会（日高大会）開催案内（案）
５）(一社)北海道建築士会第47回全道大会（中標津大会）実施計画（案）
６）(一社)北海道建築士会第47回全道大会(中標津大会)テーマ（案）
７）令和６年（公社)日本建築士連合会会長表彰推薦者(案)
８）令和６年（一社)北海道建築士会会長表彰者（案）
９）令和６年会費未納者の会誌送付停止（案）
10）定款第６条に基づく会員の入会承認（案）
11）プログラム審査評議会評議委員の委嘱（案）

本部の主な行事予定（６月）

３日(月)　代議員選挙管理委員会
５日(水)　第３回BIM推進特別委員会（web）
21日(金)　支部長・支部事務局長会議
25日(火)　第２回女性委員会（web）

関係機関等会議参加予定（６月）

18日(火)　日本建築士会連合会通常総会　　上記　本間会長

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！

■視聴方法：北海道建築士会ＨＰの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
■６月パスワード：Otr044

講習会・セミナーのご案内（６月）

監理技術者講習
12日(水)　札幌市

施工の心得講習
19日(水)　札幌市

ＣＰＤ認定プログラム(５月認定)

◆‘25基準法改正に向けた木造建築物構造設計セミナー
《日程及び会場》７月４日(木)　14：00～16：30
第二水産ビル（札幌市）
《単位数》　２単位
◆施工の心得DVD動画講習
《日程及び会場》６月19日(水)　14：00～16：35
《単位数》　２単位
《問合せ先》(一社)北海道建築士会　TEL　011-251-6076

◆2023年度JSCA北海道支部通常総会記念講演会
《日程及び会場》６月14日(金)　17：00～18：15
ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市）
《単位数》　１単位
◆北海道支部2024年けんちくこうぞうバスツアー
《日程及び会場》７月13日(土)　９：00～19：45
長沼町他
《単位数》　４単位
《問合せ先》
(一社)日本構造技術者協会北海道支部　TEL　011-206-6600

地域貢献活動センター 地域貢献活動基金の助成対象事業の募集のご案内

活動センターでは、地域社会の発展に寄与する目的で建築士会会員が参画する地域貢献活動を支援し、その活動費を補助しております。

■対象事業：建築士会員が参画し営利を目的としない地域貢献活動で、以下のいずれかのテーマに沿うもの
１．歴史的資産の保全・再生・活用
２．景観の保全・再生
３．居住空間の保全・整備
４．自然環境の保全・整備
５．福祉環境整備
６．防災活動や防災施設の整備
７．子どもの住教育やまちづくり教育
８．建築やまちづくりによる地域活性化
９．その他、活動センターが地域貢献活動と認めるもの

■助成内容：一件の限度額 20万円（予算の範囲内で審査委員会が決定した額）

■募集期間：令和６年１月４日から９月30日
※事業実施の２ヶ月前迄

詳細は、北海道建築士会ホームページまたは地域貢献活動センター事務局（北海道建築士会内　TEL 011-251-6076）までお問い合せください。

編集後記

働き方改革やら物価高騰やら世の中の移り変わりに忙殺されながら、あの大変だったコロナ禍のことまでもう忘れかけている自分にふと気づきます。労働時間が減るのは良いことだし、賃金が上がるのも良いことだけれども、どうやったら仕事として会社として生き残っていけるのか試行錯誤する毎日は、やや骨が折れます。これが「VUCA時代」というものかと実感しつつ、今号の高校生建築デザインコンクールの作品を眺めますと、今の若者たちの価値観や空気感が垣間見れて、自分のそれとは同じようで違いもありますが、彼らが生きやすい世の中をつくって行くことが、これからの私たちの使命なのだろうと思い至りました。今号よりお世話になります。

情報委員会　岩浪　治郎（札幌支部）

情報委員会委員長／前田　繁
副委員長／村山　賢司・立花智亜喜
委　員／岩浪　治郎・角張　隆昌
津山　浩・奈良岡　修

北海道建築士　No.322号
印刷　令和６年５月／発行　令和６年６月
編集・発行　一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西５丁目11番地 大五ビル
電話　(011)２５１－６０７６番
URL　https://www.h-ab.com/
印　刷　株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水２条１丁目
電話　(011)８１１－７１５１番